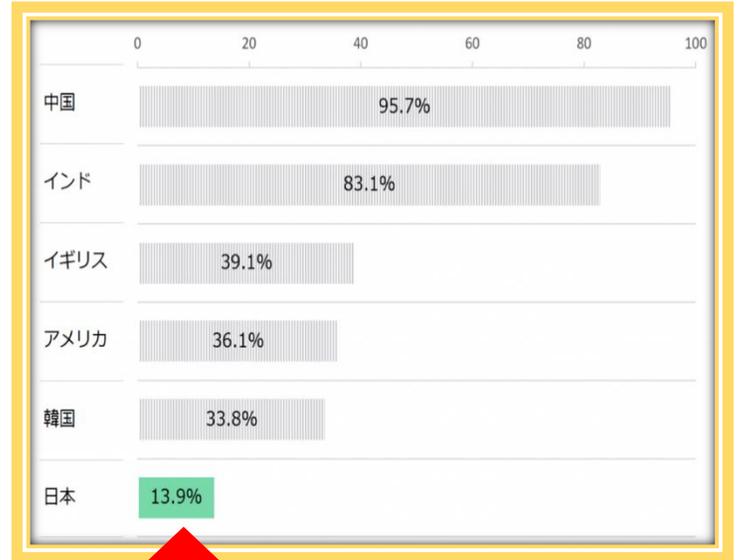


MAENAN SAH Journal Vol10

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Aug. 31st, 2023

★日本財団『18歳意識調査「国や社会に対する意識6カ国比較」』★

	自分は大人だと思う	自分は責任ある社会の一員だと思う	自分の行動で、国や社会を変えられると思う	国や社会に役立つ事をしたいと思う	慈善活動のために寄付をしたい	ボランティア活動に参加したい
日本	27.3%	48.4%	26.9%	61.7%	36.2%	49.7%
アメリカ	85.7%	77.1%	58.5%	73.0%	66.7%	70.4%
イギリス	85.9%	79.9%	50.6%	71.2%	69.5%	64.2%
中国	71.0%	77.1%	70.9%	82.1%	78.9%	85.3%
韓国	46.7%	65.7%	61.5%	75.2%	62.4%	70.7%
インド	83.7%	82.8%	78.9%	92.6%	83.7%	78.1%



①自国の将来に関する『全質問』で『日本は6カ国中最下位』！

②自国の将来「良くなる」でも『日本は最下位』！

日本財団は18歳意識調査の一環として2022年の1～2月に、『日本・米国・英国・中国・韓国・インド6カ国の若者』を対象にした『国や社会に対する意識』の調査を、各国の17～19歳の男女各1,000人を対象に実施しました。①②の表において、日本の若者はいずれの問いにも『6カ国中最下位』で、国の将来を悲観的に見る傾向が際立っています。

この調査結果に、群馬県のSAH事業で連携している横浜創英中学・高校の工藤勇一校長（2014年～2020年は千代田区立麹町中学校長）は、『原因は、日本がサービス過剰の社会だからかもしれません。人はサービスを与えられ続けると次第にそのサービスに慣れていきます。そして、もっとよいサービスを、とさらに高品質を求めるようになっていきます。そして「不満」を言うのです。そして、与えられることに慣れた子どもは、手をかけられればかけられるほど自律できなくなっていく。そして、子どもは「主体性」を失い、「当事者意識」を失い、「自己肯定感」が低くなり、「幸福度」も低くなっているのです。』とコメントしています。キーワードは『当事者意識』という言葉です。『自分が関係している』＝『我がこと』と考えることです。



『当事者意識』 = 『自分の頭で考え行動する力』



そこで、現在の教育で必要なものが『Student Agency』ということになります。これは前号で取り上げましたが、OECDが2030年に向け、学校教育に必要な姿勢の一つとして掲げた言葉です。『Agency』を『主体性』と言い換えることもできますし、『当事者意識』と当てはめることもできます！『当事者意識』をもつにはどうしたらよいのでしょうか？

『当事者意識』を持つために不可欠な要素は『問題意識・危機意識』などを『自覚すること』です。『自分がそのことに関係している』『どうにかしたい』という『自覚』がなければ、『傍観者的な立場から批判するだけ』で終わります。

私もこれまでに多くの学校に勤務しましたが、『自分の「居場所」について批判するのではなく、少しでも「うちの学校いいでしょ」と言える場所にしたい』という想いで尽力してきました。みなさんにとって『いまの前南はどう』ですか？みんなは『これからの前南をどうしたい』ですか？みなさんも『うちの学校いいでしょ！』と言えるようにすることから始めてみませんか？文責：星野 亨（教頭）

★校長より★

例えば表①で調査項目2番目から4番目の“国や社会”を“前南”に変えてみよう。「自分は責任ある前南の一員だと思う」「自分の行動で前南を変えられると思う」「前南に役立つ事をしたいと思う」になりますが、皆さんの答えはいかがですか。今度は調査項目3・4番目の“国や社会”を“スポーツ大会”に変えてみよう。「自分の行動でスポーツ大会を変えられると思う」「スポーツ大会に役立つ事をしたいと思う」となりますが、いかがでしょうか。こんな事考えたことない、行事があるから参加していると思った人等が多いのではないのでしょうか。「当事者意識」「主体性」があると言えますか。生徒主体の行事を充実させるためには、皆さんが行事をより良くするにはどうするかを考える事が重要です。

校長 関根 正弘